

別記様式3 (日本産業規格A4縦型)

# 個人調査書

受検番号	
------	--

出願先高等学校	北海道			高等学校	全日 定時 通信	制課程				
1 学籍の記録	学校名及び所在地									
	ふりがな 氏名	平成 年 月 日生 (性別 )			卒業年月	平成 年 月 卒業見込 令和				
	備考(転学の記録など)									
2 各教科の学習の記録	評 定				5 第3学年の行動の記録	基本的な生活習慣	思いやり・協力			
	教科 \ 学年	1	2	3		健康・体力の向上	生命尊重・自然愛護			
	国語					自主・自律	勤労・奉仕			
	社会					責任感	公正・公平			
	数学					創意工夫	公共心・公德心			
	理科				6 総合所見及び指導上参考となる諸事項					
	音楽									
	美術									
	保健体育									
	技術・家庭									
外国語										
評定の合計	㊦									
		㊧								
		㊨								
3 総合的な学習の時間の記録	第1学年	7 出欠の記録					項目 \ 学年	出席しなければ ならない日数	欠席日数	欠席の主な理由
	第2学年						1			
	第3学年						2			
	第3学年						3			
備 考										
4 特別活動の記録	第1学年									
	第2学年	作成年月日			令和 年 月 日					
	第3学年	中学校長名			中学校 <div style="text-align: right;">印</div>					

- (注) 1 受検番号を記入すること。ただし、有朋高校については記入しないこと。  
 2 ※印の欄は記入しないこと。  
 3 義務教育学校の後期課程の出願に当たっては、「第1学年」を「第7学年」と、「第2学年」を「第8学年」と、「第3学年」を「第9学年」と読み替えること。

点検者

※

## 備考 個人調査書の記入について

- 1 1の欄の「備考」には、外国から帰国した生徒についても、その旨を記入すること。
- 2 2の欄は、次により記入すること。
  - (1) 第1学年及び第2学年については、生徒指導要録に記載されているものに基づいて記入すること。
  - (2) 第3学年については、出願の時点における学習状況を踏まえて記入すること。
  - (3) 「評定の合計」の欄は、次により記入すること。
    - ア ㊦の欄には、その学年の各教科の評定の合計を記入すること。
    - イ ㊧の欄には、㊦の欄に記入した数を、第1学年及び第2学年についてはそれぞれ2倍した数を、第3学年については3倍した数を記入すること。
    - ウ ㊨の欄には、㊧の欄に記入した数の全学年の総和（最高315、最低63）を記入すること。
- 3 3の欄には、各学年の総合的な学習の時間における学習活動の内容及び出願者がその学習活動を通して身に付けた力などについての顕著な事項を記入すること。
- 4 4の欄には、例えば、特別活動における学級・生徒会の委員経験、学校行事の活動状況などを記入すること。
- 5 5の欄は、第3学年について出願の時点までの状況を踏まえて記入すること。
- 6 6の欄には、個人調査書の1から5までの各欄に記載されていない事項を記入すること。

なお、次のことに留意すること。

  - (1) 出願者の特徴や特技、成長に関わる総合的な所見など、出願者の長所を把握する上で参考となるような事柄や進歩の状況を記入すること。
  - (2) 出願者が参加した学校内外における奉仕活動、スポーツ活動・文化活動（学校部活動や地域クラブ活動を含む。）の行事、大会及び資格・検定試験等を記入する場合は、実績や成績のみではなく、活動からうかがうことのできる出願者の長所、個性や意欲、能力などについても記入すること。
  - (3) 観点別学習状況の評価に見られる長所や学力検査を実施しない各教科のそれぞれの学習の成果が、選抜の資料として十分生かされるよう、特に顕著な事項があれば記入すること。
- 7 7の欄の「欠席の主な理由」の欄は、具体的に記入すること。

なお、「備考」の欄は、非常時にオンラインを活用して実施した特例の授業等の記録その他出欠に関する特記事項等を記入すること。

また、出席停止・忌引等の日数に関する特記事項、遅刻、早退等の状況については記入しないこと。
- 8 過年度卒業生については、生徒指導要録に基づいて記入すること。ただし、5の欄は斜線を引くこと。